

授業科目 発達心理学

【担当教員名】 石本 豪		対象学年	1	対象学科	言語
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		◎	
【概要・一般目標：G10】 人間は生涯にわたり、身体的、心理的に変化していく存在である。 こうした「生涯にわたる変化」を発達と呼ぶ。 この講義では対象者を生涯発達という視点から理解するために、一般的な発達の在り様だけでなく発達の過程で生じる諸問題を含む多様な発達の在り様を理解することが目標となる。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 「生涯発達」という用語を定義できる					
2. 各年代における一般的な発達の在り様を説明できる					
3. 発達の過程で生じる諸問題を説明できる					
4. 発達上の問題を抱える人々に対する支援に関し、自分の考えを表現できる					
5. ケアという観点から生涯発達を説明できる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	発達心理学とは			1	講義
2	乳児期における発達			2	講義
3	幼児期における発達			2	講義
4	児童期における発達			2	講義
5	思春期における発達			2	講義
6	青年期における発達			2	講義
7	思春期、青年期の発達における諸問題			2, 3	講義
8	思春期、青年期の発達における諸問題			2, 3	講義
9	発達上の諸問題をかかえる人に対する支援の実際			2, 3, 4	講義
10	成人期初期における発達			2	講義
11	成人期後期における発達			2	講義
12	老年期における発達			2	講義
13	家族の発達			2	講義
14	人生を展望する			2	講義
15	まとめ			1, 5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		なし			
参考書		心理学 第4版	鹿取 廣人、杉本 敏夫、鳥居 修晃	東京大学出版会	2011・2,400円＋税
その他の資料		必要に応じて配布する			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
1. 小テスト（レポート課題を含む） 2. 定期試験（筆記） 3. 履修態度 以上3点から総合的に評価する					